

職場環境衛生改善の一取り組み

市浦営林署 ○総務係長 上 見 和 生
販売係長 成 田 日出夫
収 穫 係 津内口 英 論
森林活用係 工 藤 大 輔

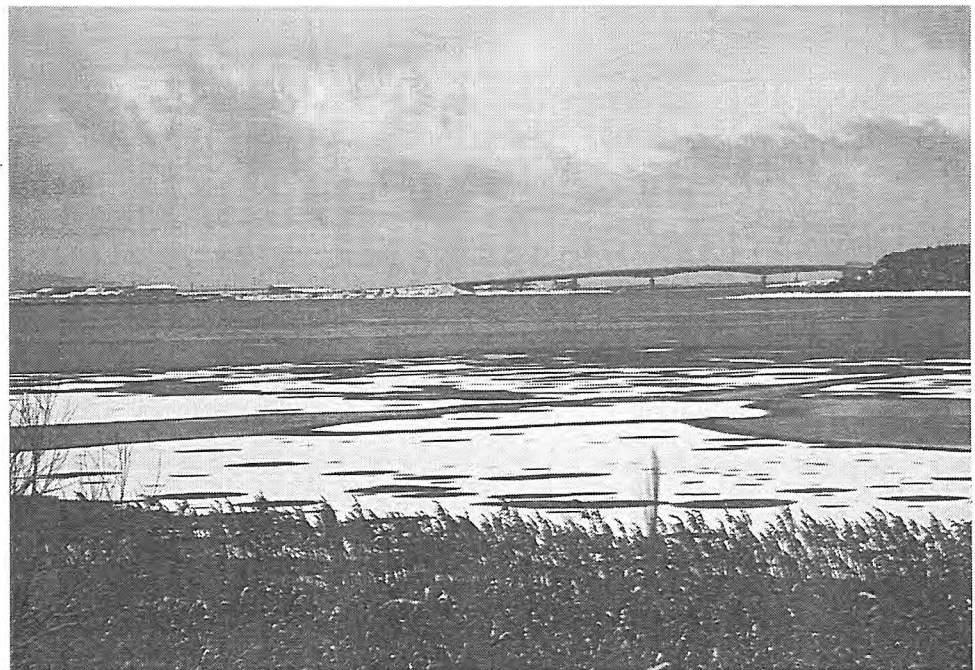
1 はじめに

市浦営林署は、明治19年7月に相内小林区署として開庁し平成8年度で110年を迎えた歴史のある営林署であり、津軽半島の西北部に位置し日本海に面した市浦村及び小泊村に分布する10,817haの国有林を管轄している。

庁舎のある市浦村は、中世期に鎌倉幕府から蝦夷管領を命じられ、東北北部・北海道を支配していたといわれる安藤氏が拠点としたのが、廻船式目で三津七湊の一つに数えられ、蒙古や高



(写-1) 市浦営林署庁舎



(写-2) 中世期国際貿易港として栄えた十三湖

麗，沿岸州の各国と交流を行い，北国第一の国際貿易港として栄えた十三湊であり，日本海を中心に一大文化圏を築きながら歴史の中に隠れていた幻の中世都市・十三湊が眠っている村である。

2 取組みの背景

当署においては職場環境衛生の改善を図るため，庁舎構内整備及び庁舎内壁塗装を実施してきたが，平成8年1月期出署日の全体会議において職員から「事務室内における喫煙は，吸わない職員に対する悪影響及びOA機器に与える悪影響もあることから，ハード面の改善に併せてソフト面の改善も必要である。」との改善提案が出され，安全衛生委員会で審議することとしたものである。

改善提案を審議することになった安全衛生委員会は，喫煙者及び非喫煙者から「事務室内は禁煙とする。」ことについて意見を聞き，両者の意見が一致したことから，安全衛生委員会の決定事項として営林署長に答申し，準備整い次第実施することとしたものである。

3 改善提案の「たばこ」の及ぼす悪影響

(1) 喫煙者は「たばこ」の害を認識しながらも，自分の判断で喫煙しているが，非喫煙者は不本意ながら「たばこ」の煙を吸わされており，非喫煙者の健康に影響を与えている。

(2) 喫煙者自身の悪影響

ア 一日に吸う本数が多いほど，また，「たばこ」を吸い始めた年齢が低いほど肺癌にかかる危険性が高くなる。

イ 「たばこ」に含まれているニコチンは，交感神経を刺激して副腎からアドレナリン等の分泌を促し血圧や脈搏をを上昇させるが，これが心臓への負担を増加させ動脈硬化が原因で起こる狭心症や心筋梗塞を引き起こす原因となる。

(3) 非喫煙者への悪影響

「たばこ」の煙には，吸い口のほうから立ち昇る主流煙と火のついていほうから出る副流煙があり，ニコチン，タール，一酸化炭素などの有害物質は，副流煙のほうに多く含まれており，喫煙者の周囲にいと主流煙，副流煙の両方を吸わされて喫煙者と同様の影響を受ける。

(4) OA機器への悪影響

「たばこ」の煙がフロッピーディスクに付着すると，データの読み書きができなくなったり，フロッピーディスクドライブの故障の原因となる。

4 市浦営林署における禁煙対策について（答申内容）

(1) 庁舎内事務室では終日禁煙とする。（署長室は除く。）

(2) 喫煙者は既設の休憩室を利用して喫煙する。

(3) 以上のことから，既設の休憩室を順次整理し，5月上旬からスタートする。

(4) 来客の方には事務室内禁煙について説明するが，禁煙の強制はしない。

5 署内喫煙者・非喫煙者数及びO A機器設置数

喫煙者等及びO A機器設置の内容は次表のとおりである。

(表-1) 署内喫煙者・非喫煙者数

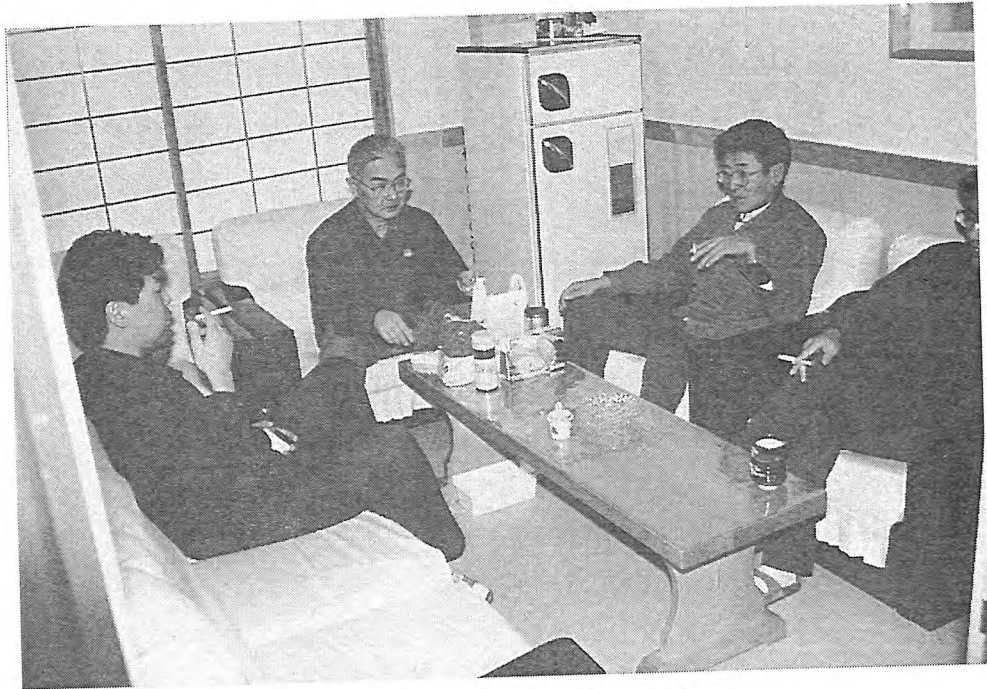
区 分	平成8年4月1日	平成8年12月1日
喫 煙 者	7 名	8 名
非喫煙者数	8 名 (男子1)	8 名 (男子2)
総 数	15 名	16 名

(表-2) O A 機 器 数

ワープロ	ノートパソコン	パソコン	分 散
6	8	2	2 (雑)



(写-3) 休憩室・喫煙室



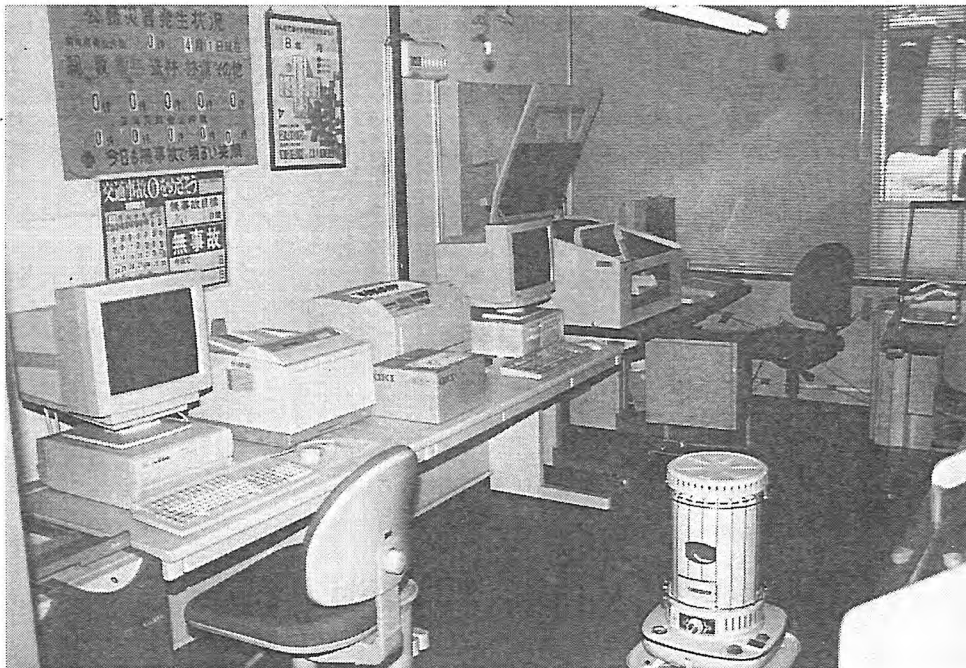
(写-4) 休憩室・喫煙室における喫煙



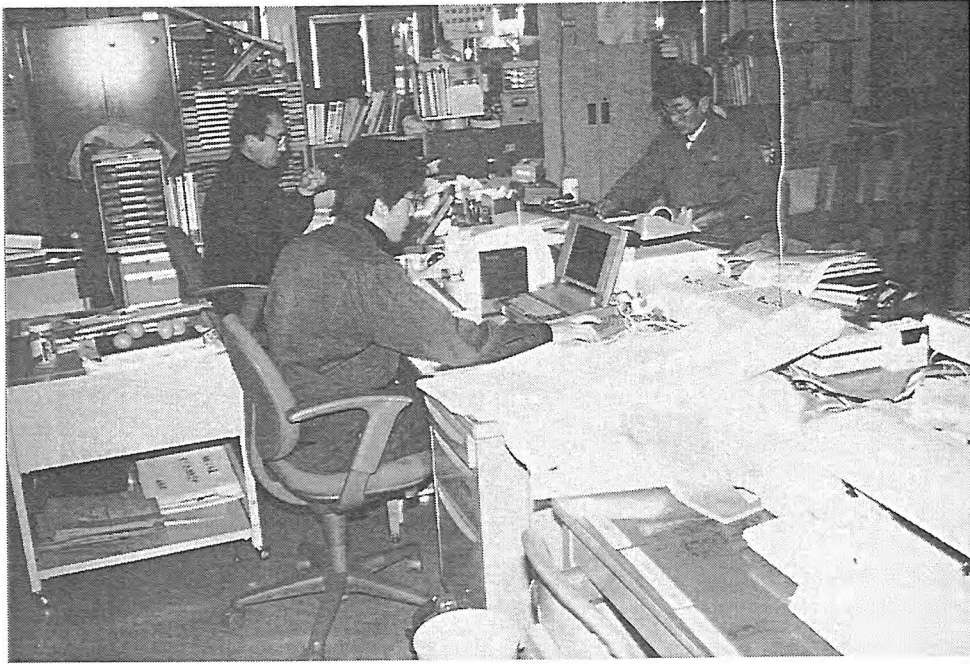
(写-5) 灰皿の無い事務室内の応接テーブル



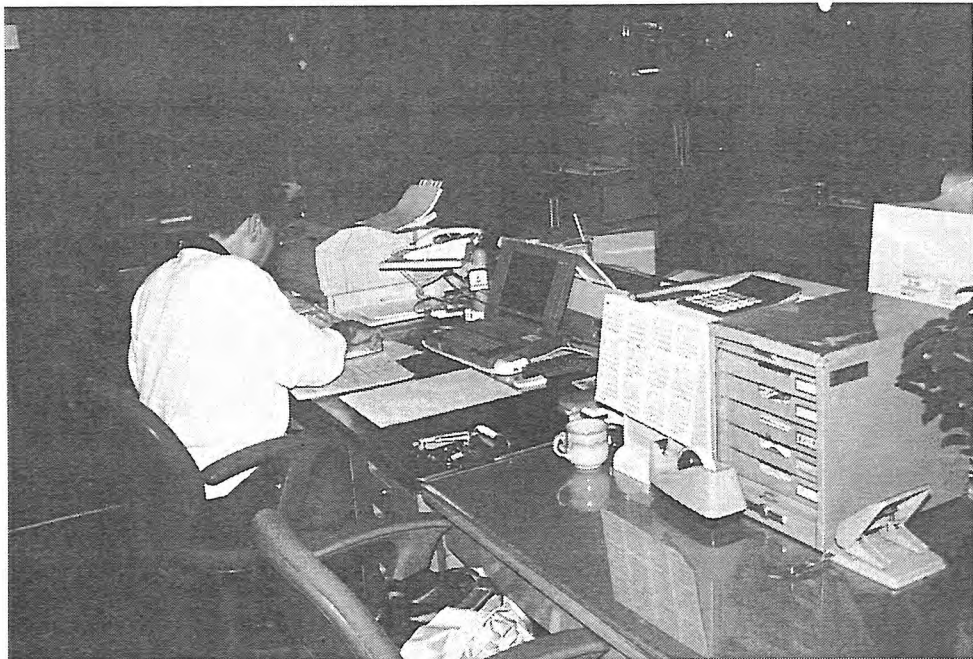
(写-6) 灰皿の無い会議室



(写-7) 分散機器・パソコン



(写-8) パソコン操作



(写-9) パソコン操作



(写-10) 煙の無い事務室

6 おわりに

この取組みは平成8年5月上旬にスタートし、10ヶ月間を経過しただけであり結果についての判断をすることは時期早尚であるが、職員はもとより、来庁される方々もこの取組みに対して理解し『事務室内禁煙』によりつぎの職場環境衛生の改善が図られている

- (1) これまで、たばこの煙 → 飛散 → 空気汚染 → 作業 の環境であったが、飛散・空気汚染を排除したことで快適な職場環境。
- (2) 喫煙者は休憩室まで出向いての喫煙となることから、喫煙本数が減少。
- (3) 非喫煙者は主流煙、副流煙の害から解放。
- (4) 女性（パート2名）に与える害の予防。
- (5) O A 機器のトラブル防止。